

がん化学(放射線)療法レジメン申請書

* 記入不要です

申請期日	2009/3/10
診療科名	泌尿器科
診療科長 署名	
申請医師 署名	
登録確認日	
登録削除日	

受付番号	*
がん腫(コード)	*
レジメン登録ナンバー	*

以下(a), (b)は 2 ページ目記載の参考にし

がん種	レジメン名	実施区分	使用分類	適応分類
尿路上皮癌	シスプラチン 併用放射線 化学療法	<input checked="" type="checkbox"/> 入院 <input checked="" type="checkbox"/> 外来 <input type="checkbox"/> 入院及び外来	<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療(試験以外) <input type="checkbox"/> 単施設自主研究 <input type="checkbox"/> 多施設自主研究 <input type="checkbox"/> 市販後臨床試験 <input type="checkbox"/> 治験 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 通常化学療法 <input type="checkbox"/> 大量化学療法 <input checked="" type="checkbox"/> その他(放射線化学療法)
臨床試験の場合記入				
期間	~			
Phase	<input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> I/II <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> II/III <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> その他			

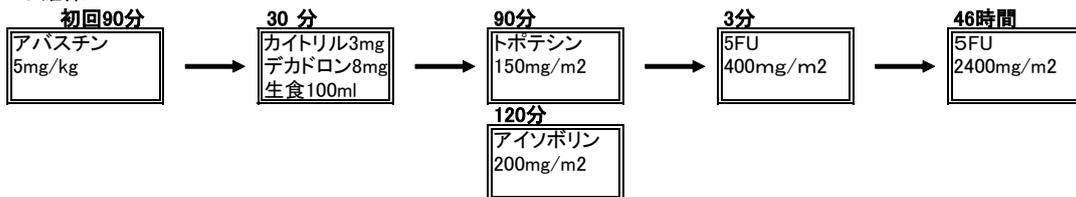
てください。

(a)投与スケジュール記載例

開始時の設定投与量	mg/kg	day	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
薬剤名	mg/m ²																												
アバスタチン	5mg/kg	●																											
トポテシン	150mg/m ²	●																											
アイソボリン	200mg/m ²	●																											
5FU	400mg/m ²	●																											
5FU	2400mg/m ²	●																											

(b)1日のスケジュール記載例

ルート確保



1ページ目の記載例に準じて記入してください。

(a) 投与スケジュール

(行の挿入、表のコピーペーストは可能です。)

薬剤名	投与量	day1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
		プラトシン 生食	10mg 100ml	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●												
1コース期間	15日	目標コース数					□有 (コース) ■無 (PD まで)																						

(b) 1日のスケジュール (投与時間も記入してください。テキストボックスはコピーアンドペーストで増やせます。)

【Day1—15】

1時間かけて(放射線開始まで)

プラトシン	10mg
生食	100 ml

(審査の参考にしますので簡単に記載してください。)

基準項目	進行性尿路上皮癌(膀胱癌、腎盂尿管癌)
適格基準	局所浸潤がん、単発のリンパ行性転移を有する患者
除外基準	高度な骨髄抑制のある患者。 腎機能障害 (24CCr 50ml/min 未満) の患者
開始基準	
次コース 開始基準	
休薬基準	WBC の↓
投与量 変更基準	
中止基準	

・本レジメンが、臨床試験の場合はプロトコルの解説を簡単に記載してください。

・レジメン審査の規準は以下のとおりとなっています。

- ① 標準治療であること。または、標準治療に準ずる治療であること。
- ② IRBの審査を受けた試験であること。

これらの規準をふまえた上で、本レジメンのエビデンスを簡単に記載してください。

尿路上皮癌に対する標準化学療法としてはM-VAC療法が一般的であるが、そのほかにも局所再発、また単発のリンパ節転移に対してはシスプラチン併用の放射線化学療法が標準治療として広く行われているため、施行したい。